



小さくても**本物**

多摩産業人クラブの住吉プレシジョン（東京都調布市、住吉智実社長）は、金属・樹脂の加工を手がける。約20年前の会社設立以前から大手計測機器・装置メーカーを中心に取引を続け、事業基盤を築いてきた。マシンングセンター、旋盤、フライス盤などを使いさまざまな部品加工を手がける。

月に1000件、数万点の部品加工で大きいものは直径300ミリから、小さいものは数ミリまでさまざま。加工精度はマイクロメートル単位にも対応する。近年、コスト競争力と合わせて求められるのが仕上げだ。住吉プレシジョンでは「ベテラン職人ならではの熟練技を駆使する」（住吉社長）ことで厳しい要求にも応えている。

これらを支えているのは20-70代の技術者だ。ベテランに頼っている部分も多いが「マニュアルに起こすのは難しいが、技術力を底上げできる体制作りに取り組みたい」（同）という。

多摩

住吉プレシジョン
月に数万点を精密加工

部品の加工精度はマイクロメートル単位。職人が熟練技を駆使



2015年1月19日、本社・工場を東京都府中市（電話番号042・319・8108）に移転し稼働する。

仕上げ、組み立てラインの作業効率を上げるなど、今後の受注量増加にもしっかり備える考えだ。